

2021年度 限度額を超えた随意契約一覧表

部局名：沓岐振興局

2022年3月末現在

番号	所管部局	所管課 (地方機関名)	契約日	契約の名称	契約金額(円)	契約の相手先、住所、氏名	随意契約とした理由 (具体的かつ詳細に記載)	地方自治法施行令 適用条項
1	沓岐振興局	管理部 総務課	2022年 3月25日	沓岐振興局総合庁舎（沓岐保健所含む）宿日直業務委託	3,116,800	非公開	宿日直業務は、平日夜間及び休日における庁舎管理、時間外の電話対応、郵便物等の收受並びに気象警報発令、事故や災害発生時の対応である。 緊急時の対応等という業務の性質上、契約相手には信頼性、的確性を強く求められることから、一般公募のうえで面接等により個人の適性を判断し委任契約を行うものである。	第167条の2第1項 第2号
2	沓岐振興局	建設部 沓岐空港管理事務所	2021年 10月26日	沓岐空港非常用滑走路灯購入	2,143,504	福岡県福岡市中央区天神4 - 6 - 7 株式会社有電社 九州支店 支店長 大園隆光	本業務は滑走路灯の回路に不具合が発生し、点灯できない場合、即設置点灯可能な非常時対応用の滑走路灯を購入するものである。現存の非常用滑走路灯は昭和50年頃購入で経年劣化による老朽化が進み、不具合が発生した場合、取替部品等もなく、修繕は難しいことから、新規に購入するものである。なお、この灯火は空港施設専用の特殊品であり、型式が指定されており、製造業者として国が承認しているのは日本光機工業(株)だけである。本製品の販売について、取扱代理店として指定を受けているのは、(株)有電社だけであることから、(株)有電社九州支店と一者随意契約を行うものである。	第167条の2第1項 第2号
3	沓岐振興局	建設部 沓岐空港管理事務所	2022年 3月24日	沓岐空港消防救難活動業務委託	31,654,000	沓岐市郷ノ浦町本村触5 6 2 番地 沓岐市 沓岐市長 白川 博一	沓岐空港の消防救難活動業務については、沓岐広域圏町村組合と消防協定を締結しており、市町村合併後は同組合の業務を沓岐市が承継している。また、航空機火災等高度な火災に対応できる者は島内には沓岐市消防本部しかなく、契約相手方が沓岐市に限られるため。	第167条の2第1項 第2号
4	沓岐振興局	建設部 管理・用地課	2022年 3月31日	郷ノ浦港緑地、印通寺港緑地及び勝本港緑地管理委託	2,651,214	沓岐市郷ノ浦町本村触5 6 2 番地 沓岐市 沓岐市長 白川 博一	沓岐市は、「長崎県の事務処理の特例に関する条例」に基づき、岸壁や護岸、野積場等の港湾施設の軽微な維持補修や許可事務等を行っているが、「郷ノ浦港緑地」「印通寺港緑地」「勝本港緑地」は、これらの港湾施設に隣接しており、緑地の管理を沓岐市が一体的に行うことが効率的、かつ合理的であること、また、沓岐市に県と同程度の負担を求めることで適切な維持管理を図ることができる。 以上の理由により、沓岐市と随意契約を行うものである。	第167条の2第1項 第2号
5	沓岐振興局	建設部 建設課	2022年 3月7日	芦辺漁港生産基盤整備工事（積算技術業務委託）	4,345,000	大村市池田二丁目1 3 1 1 番 地3 公益財団法人 長崎県建設技術研究センター 理事長 田村孝義	当業務は、予定価格算出の基礎となる設計書を作成するものであり、入札参加者等への情報漏洩防止が必要であるとともに、設計書作成に使用する県の積算システム（プログラム及びデータ）の流出防止も必要である。 このため、建設業者より資金面や人面で直接的な影響を受けず、当該業務の経験も豊富な公益財団法人長崎県建設技術研究センターを契約の相手方として特定するもの。	第167条の2第1項 第2号

別紙の内容は、別紙の文字をクリックすると表示されます。

番号	所管部局	所管課 (地方機関名)	契約日	契約の名称	契約金額(円)	契約の相手先、住所、氏名	随意契約とした理由 (具体的かつ詳細に記載)	地方自治法施行令 適用条項
6	沓岐振興局	農林水産部 農林整備課	2021年 9月1日	沓岐地区高尾ため池整備工事	66,330,000	沓岐市芦辺町住吉前触777番地 株式会社 沓松組 代表取締役 末永 勝也	<p>本工事は、沓岐市芦辺町の老朽化により漏水が顕著で決壊の危険性がある高尾ため池の改修を行なうもので、農村地域の安全・安心の確保を図る緊急性が高い防災工事である。</p> <p>沓岐振興局管内の土木一式工事Aランク業者10者中10者を指名し入札を行なったが、1回目の入札(R3.6.16)が5者辞退、5者超過で入札不落、2回目の入札(R3.8.4)が6者辞退、4者超過(うち1者はランダムにより超過)による入札不落であった。</p> <p>本ため池の改修工事は、緊急性が高い防災工事であるとともに、工事のためにため池の受益者が本年度の水稻の休作を行っており、今後、3度目の競争入札を行った場合、定期的に2カ年連続の休作を余儀なくせざるを得なくなる。</p> <p>以上の緊急性と、2回目の入札に関して設計額以下の応札額であったがランダム係数により設定された予定価格を超過したことにより落札者がなかったことを勘案し、2回目の入札執行の際に最低価格を示した同者と地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定により随意契約を行なう。</p>	第167条の2第1項 第8号
7	沓岐振興局	農林水産部 農林整備課	2022年 2月14日	沓岐地域ため池積算参考資料作成業務委託	3,575,000	長崎市大黒町9-17 長崎県土地改良事業団体連合会 会長 古川 隆三郎	<p>当該業務は、農村地域防災減災事業「郷ノ浦地区、沓岐地区」で実施中のため池整備工事において、予定価格算出の基礎となる設計書を作成するものであり、入札参加者等への情報漏えい防止および積算システム(プログラム及びデータ)の流出防止が必要である。このため、以下の理由により長崎県土地改良事業団体連合会(以下「土改連」と)随意契約を行うものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土改連は、県下21市町及び103土地改良区等を会員とする土地改良法に基づく公益法人で、当該業務の経験が豊富、かつ秘密保持が可能な団体である。 ・県営事業の積算は、(社)農業農村整備情報総合センターの農業農村整備標準積算システムを使用しており、県内で使用許諾契約を締結しているのは、県と土改連のみである。 ・更に、積算システムには、標準の機能に加え県独自の機能を付加する必要があり、土改連は、その保守運用について県と共同で行っている県内唯一の団体である。 	第167条の2第1項 第2号
8	沓岐振興局	保健部 衛生環境課	2022年 3月28日	令和4年度犬捕獲抑留等業務委託	2,343,000	非公開	<p>狂犬病予防事業推進を目的とした犬の捕獲抑留、殺処分並びに焼却処分という特異かつ一般に敬遠される業務を含むことから、業務に関して地域の状況に精通し、信頼できるだけでなく、経験や技術を十分に持つ者に委託する必要がある。また、新たに当該業務に従事したいとの申し出もあってない。以上の理由により、当該業務に精通した個人と随意契約を行うものである。</p>	第167条の2第1項 第2号

別紙の内容は、別紙の文字をクリックすると表示されます。